

イチゴ始めました

氏名：石井 拓真（平成 29 年度 農学科 果樹コース卒業）

就農年	令和3年
就農形態	新規参入
就農地	常陸大宮市
経営品目	イチゴ



【農業大学校に入学したきっかけ】

実家では食べるだけでしたが野菜などを栽培していました。小さいころから農業を身近に感じていたため、将来は自分で本格的に農業をやりたいと思い水戸農業高校に進学しました。高校では色々な農業を勉強したいと思い畜産学科に進学し、主に豚の飼養管理を行っていました。

畜産での就農は難しいことが分かり、当時シャインマスカットが大きく世に出てきたこともあり、果樹を勉強したいと思い、農業大学校へ入学し果樹コースを選択しました。



【在学中の思い出】

入学してすぐのゴールデンウィーク中に、バイクで事故を起こし、足を怪我してしまいました。3か月ほど入院することになってしまったため、1年生の時に実施する「プロジェクト活動」では「ブドウで・・・」と考えていたのですが、希望叶わず梨になってしまい、入学当初から目標がずれてしまった苦い思い出があります。

授業では、実習で行った剪定や誘引の作業が大変でしたが、各種免許等を取得できたことは良かったです。農業という同じ目標を持った仲間との寮生活も楽しかったです。

【就農を決意したきっかけ】

農大を卒業後、先進農業派遣実習でお世話になったブドウ農家で、半年ほど働きました。しかし、ブドウだと新規参入が難しいと思い、常陸太田市でイチゴと梨を栽培している農家で働き始めました。新たにイチゴでの新規参入を目指し、その農家と普及センターにお世話になり、常陸大宮市のイチゴ農家で2年間研修を実施しました。研修後の令和3年3月に常陸大宮市の辰ノ口でイチゴ栽培を始めました。



直売所で配布しているチラシ

【現在の取り組み】

農園名を「たつのくち農園」と名付け、約15aのほ場（ハウス6棟）で、いばらキスを栽培しています。主な販売先は、庭先での直売と近くにある道の駅です。その他、JAや知り合いのパン屋にも出荷しています。



ハウス全景

【これからの夢や目標】

経営が軌道に乗ってきたら、面積を拡大していきたいと考えています。最低でも30aを目標として取り組んでいきます。現在、インスタはやっていますが、その他SNSなどでも情報を発信し、多くのお客さんに直売所に来てもらいたいです。

【これから「農業を学びたい人」や「就農したい人」へのアドバイス】

あいさつは大切です。また、私も色々な人に支援してもらいここまで来たので、お世話になった人たちに感謝を忘れないでください。また、学生時代などは色々なことにチャレンジしてください。